

社会福祉法人金山町社会福祉協議会

令和3年度 事業報告書

令和3年度 社会福祉法人金山町社会福祉協議会 事業報告

社会福祉協議会は、住民のかかえる福祉ニーズを的確にとらえるため、相談機能の充実を図るとともに、要援護者(世帯)の早期発見、対応に向けた、関係機関との情報の共有と、必要な支援(助言指導、資金貸付など)の実施や、社会福祉事業(受託事業等)の能率的運営、地域住民の自発的な活動(ボランティア活動)の支援など、地域福祉推進のため関係諸機関の理解と協力を得ながら本年度の事業を展開した。

① 法人運営管理事業

①-1 法人運営管理事業

◇ 役員会等の運営管理

理事会、評議員会を開催し、法人の管理運営及び事業実施計画、事業推進課題等、重要事項の審議、決定を行い、適正な法人運営、事業の効果的推進を図った。

・ 令和 3年 6月19日 監査
令和2年度事業監査(事業執行状況、財産状況等)

・ 令和 3年 6月24日 理事会

令和2年度事業報告、収支決算の承認
評議員選任委員の選任(任期満了)
評議員選任候補者の推薦(任期満了)
役員選任候補者の推薦(任期満了)

・ 令和 3年 6月28日 評議員選任委員会

評議員の選任(任期満了)

・ 令和 3年 6月30日 評議員会

令和2年度事業報告、収支決算の承認
役員の選任(任期満了)

・ 令和 3年 6月30日 理事会

会長、副会長、常務理事の選任

・ 令和 4年 3月22日 理事会

令和4年度事業計画、収支予算の承認

役員選任候補者の推薦(欠員補充)

令和 4年 3月28日

評議員会

令和4年度事業計画、収支予算の承認

役員の選任(欠員補充)

◇ 事務局の運営管理

諸規程の定めにもとづき、事務事業の適正な処理、執行にあたり、事業実施のために必要な各種研修会議への参加と、関係諸機関、地域住民との連携を密にしながら、重点事業の効果的な推進につとめた。

事務局体制(正職員2名、臨時職員6名)

事務局次長、事務局推進員、

ホームヘルパー派遣事業職員(3名)、福祉バス運行管理事業職員(1名)

令和 3年 4月27日

(オンライン会議)

市町村社会福祉協議会事務局長会議

社会福祉協議会をめぐり、動向と県社協重点推進事業他

令和 3年 5月26日

高齢者福祉関係職員研修

高齢者の現状と課題、高齢者福祉分野で働く心構え他

令和 3年 6月20日

赤十字救急法基礎講習会

AEDを用いた一次救命処置の理解他

(新庄市民プラザ)

令和 3年 6月25日

高齢者福祉関係職員研修

福祉専門職に必要な考え倫理他

令和 3年 7月13日

生活支援コーディネータースキルアップ研修会

有事における生活支援のあり方他

令和 3年 7月20日

(オンライン会議)

市町村社協地域福祉ボランティア担当者会議

コロナ禍における地域福祉ボランティア活動について、

意見交換他

令和 3年 7月27日

(オンライン研修)

地域コーディネーター養成研修

子どもの居場所づくりの取組について他

令和 3年 7月30日

(わくわく新庄)

最上地域生活支援コーディネーター情報交換会

生活支援コーディネーターの役割、悩みごとの共有他

令和 3年 8月 5日

(オンライン研修)

災害ボランティアセンター運営研修会

災害ボランティアセンターの基本について他

令和 3年 8月17日

(オンライン研修)

地域づくり人材養成研修

地域をつくる多様な担い手の視点他

- ・ 令和 3年 9月 9日 (オンライン会議)
共同募金委員会事務局局長会議
令和3年度事業計画、予算、配分計画について他
- ・ 令和 3年 9月25日
とざわふれあい食堂視察
とざわふれあい食堂体験他
- ・ 令和 3年 9月26日
心のバリアフリー推進事業協力
(金山町農村環境改善センター) 心のバリアフリーによる共生社会の推進他
- ・ 令和 3年 9月28日
心の健康づくりサポーター養成講座
サポーターの役割(気づき、傾聴、つながり、見守り)他
- ・ 令和 3年10月10日
福祉有償運送認定講習
(山形市総合福祉センター) 移動サービスに関する制度と法律他
- ・ 令和 3年10月26日
福祉有償運送認定講習
(山形市総合福祉センター) 移動サービスへの運転に必要な心構え他
- ・ 令和 3年10月28日
(オンライン会議)
子どもの居場所づくりネットワーク会議
コロナ禍での子どもの居場所づくり活動の現状と課題他
- ・ 令和 3年11月15日
(オンライン研修)
生活援助活動推進研究協議会
ひきこもりの方を支えていく手法他
- ・ 令和 3年11月19日
やまがたNPO活動促進大会
(ホテルメトロポリタン山形)
多様な主体の協働による社会貢献の推進について
- ・ 令和 3年12月 1日
(オンライン研修)
身近な地域での福祉活動を進めるための担い手養成研修会
地域での支え合いづくりの進め方他
- ・ 令和 3年12月 3日
(オンライン研修)
生活支援員・担当職員研修会
判断能力が不十分な方への対人援助のポイント他
- ・ 令和 3年12月 4日
人と人がつなげる地域支え合い活動でツチングセミナー
(三川町子育て交流施設オトル) 生きがいと支え合いを育む活動について他
- ・ 令和 3年12月15日
(最上総合支庁)
雪害事故防止研修会
雪害事故事例から見る傾向や原因等について他
- ・ 令和 4年 1月18日
(最上総合支庁)
最上地域生活支援コーディネーター情報交換会
最上地域生活支援についての検討他
- ・ 令和 4年 1月19日
(金山町役場)
成年後見制度利用促進計画(金山町)検討会
成年後見制度利用促進計画の概要他
- ・ 令和 4年 2月 9日
(金山町役場)
成年後見制度利用促進計画(金山町)検討会
制度利用促進計画の検討他
- ・ 令和 4年 2月25日
(オンライン会議)
ボランティア担当職員ネットワーク会議
ボランティア活動等の現状と課題他

- ・ 令和 4年 3月 2日 成年後見制度利用促進計画(金山町)検討会 (金山町役場)
- ・ 令和 4年 3月 3日 日常生活自立支援事業 基幹的社協事務局長会議 (オンライン会議)

日常生活自立支援事業の実施状況について他

② 生活支援援助事業

②-1 ホームヘルパー派遣事業(生活管理指導)

日常生活上の支援、指導から、一人暮らし高齢者等の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行防止を図るためのホームヘルパー派遣事業。
対象者は、要介護認定非該当の方。

日常生活、家事、対人関係の構築等についての支援、指導、並びに関係機関等との連絡調整の実施。(町の利用決定通知をうけ実施)

・ 利用者数
34人
前年度⇒ 37人

・ 延べ利用者数
1,483人
前年度⇒ 1,474人

・ 総派遣時間数
1,595時間00分
前年度⇒ 1,568時間00分

平成22年度より、事業対象要件を一部緩和(一人暮らし高齢者から、支援を要する高齢者二人世帯まで)するなど、対象者の生活支援の充実を図っている。
また、令和3年度より、ヘルパーを1名増員し、利用者の増加に対応できる体制としている。

②-2 高齢者在宅福祉事業

町の実施する高齢者在宅福祉事業の一部受託。

◇ わたきり老人等寝具洗濯乾燥消毒サービス事業

70歳以上の一人暮らし、または二人暮らし高齢者世帯、及び65歳以上の寝たきり及び重度障がい者等に対する、掛、敷布団、毛布等の洗濯乾燥消毒サービス。

(利用者負担有:利用料の1割)

※ 当年度実績なし

◇ 緊急通報システム設置事業(やすらぎ電話)

おおむね65歳以上の低所得の一人暮らし等で、安否確認を行う必要のある方に、やすらぎ電話を設置。
(利用者負担有:通話料及び消耗品)

・ システム設置件数 7 件

・ システム撤去件数 3 件

※ 当年度末 システム利用件数 65 件

②-3 福祉サービス利用援助事業(令和元年度より基幹社協として事業実施)

認知症高齢者や障がい者など、判断能力が不十分な方に対する自立支援事業。

(※利用契約締結のうえサービス提供)

判断能力が十分でないことから、必要な福祉サービスの利用が困難であったり、日常生活上に不安や問題をもつ方などに対し、地域で自立した生活ができるよう、下記の支援等必要な援助を実施。

- ◇ 福祉サービス利用の支援
- ◇ 日常的な金銭の出し入れの支援
- ◇ 大切な書類等の預かり

・ 利用者数(契約者数) 1 人
前年度⇒ 1 人

・ 延べ利用者数 6 人
前年度⇒ 6 人

※ その他の状況 2 人
(契約締結検討中(2人))

②-4 相談及びその他の援助事業

◇ 心配ごと相談

日常生活上の様々な心配ごとの相談に応じ、地域の社会資源を効果的に活用し適切な助言指導を行い、福祉推進を図ることを目的とする相談事業。

定期的に心配ごと相談所を開設し、相談内容に応じて必要な関係機関との連携を図りながら、問題の円満な解決に取り組んでいる。

・ 定期相談 相談件数 3件 前年度⇒ 6件
(福祉サービス利用に関すること、苦情問題等)

・ 無料法律相談(山形県地域包括ケア総合推進センターとの共催)

開催日 令和 4年 1月 24日
会場 町農村環境改善センター
相談件数 4 件 (相続・遺言、家族問題、財産・金銭など)
弁護士による専門的助言等の支援を実施

◇ その他の援助

・ 火災見舞金支給 住居が被災(半壊または半壊以上)した場合の見舞金支給。

見舞金支給件数 1件
前年度⇒ 0件

見舞金支給額 5,000円
前年度⇒ 0円

・ 行路貧困者交通費等援助 公共交通機関等を利用する当座の交通費がないため、
目的地に移動できない者にたいし、交通費等を支給。

交通費等支給件数 0件
前年度⇒ 0件

交通費等支給額 0円
前年度⇒ 0円

②-5 生活福祉資金事業

低所得者、障がい者又は高齢者にたいし、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、対象者の生活の安定を目的とする事業。

・ 援助を要する世帯に対し、世帯担当地区民生委員と連携し、世帯の実態を把握(調査の実施)、指導計画を立て、資金貸付等所要の援助指導を実施。

・ 資金借受世帯に対して、定期的(半期毎)に償還状況等の通知を行うとともに、世帯の状況について、担当地区民生委員の協力をえて把握し、必要な援助指導を実施。

資金貸付件数 7件
前年度⇒ 4件

資金貸付決定額 2,580,000円
前年度⇒ 3,430,000円

当年度未取扱件数(貸付中) 37件
前年度⇒ 36件

②-6 たすけあい資金貸付事業

生活困窮世帯等に対する援助事業。(小口貸付事業)

・被保護世帯並びにこれに準ずる世帯に対する資金の貸付と、必要な援助指導の実施。
(生活困窮状況解消までのつなぎ資金)

資金貸付件数	前年度⇒	1件
		0件
資金貸付額	前年度⇒	50,000円
		0円
当年度未取扱件数(貸付中)	前年度⇒	3件
		2件

③ 地域福祉推進事業

③-1 福祉バス運行管理事業

老人、心身障がい者等の各種団体や住民の社会福祉活動への参加の促進や行政機関の事業推進を図るための福祉バスの運行管理事業。
バス運行の円滑化を図るとともに、事故防止のための車輛の維持管理(整備点検)の実施。

・バス利用件数(延べ利用件数)	前年度⇒	146件
		116件
・バス利用者数(延べ利用者数)	前年度⇒	2,613人
		1,369人

③-2 いきいきネット推進事業

「安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域課題にたいして、地域住民が連帯感をもち、組織的な活動を積極的計画的に展開できる環境の整備事業。

◇ ボランティア活動の推進

(ボランティア学習研修・体験活動支援)

ボランティア学習研修並びに体験活動を通じて、活動の意義、必要性を学ぶことにより、社会参加の意識高揚を図ることを目的として、活動者への情報の提供、連絡調整を実施。

- ・「高齢者世帯等の除雪ボランティア」活動支援
活動者(高等学校生徒)の送迎(福祉バス運行)並びに連絡調整
※ 活動用備品(除雪用具)の貸与
(平成25年度財団法人東北地方郵便局長協会寄附金原資購入備品)

実施日 令和4年2月10日
活動場所 6カ所(一人暮らし高齢者世帯等)
参加者 新庄南高等学校金山校生徒等約45名
内容 対象世帯の除雪

(ボランティア登録団体等支援・ボランティア活動保険の推進)

活動に必要な情報提供や、活動中の事故にそなえた保険加入の推進(基本ボランティア掛金の助成)と加入手続の支援。

・ 保険加入団体数	12 団体
前年度⇒	6 団体
・ 保険加入者数	326 人
前年度⇒	179 人

(「ふれあい・いきサロン」活動支援)

(⇒地区助成)

参加者、ボランティア相互のふれあい(交流)の場となる「ふれあい・いきサロン」の活動を通じて、地域における「人と人のつながりの輪」を広め、地域課題問題の共有や地域連帯の意識高揚を図る。(住民主体活動の継続的発展の支援)

(参考) : これまでに実施した地区

羽場(2回)、荒屋、山崎、長野、内町、七日町地区

・ 活動実践地区

十日町地区(2年目)

・ 活動の拠点

地区公民館他(屋外の場合:きこころ橋他)

・ 活動の担い手

十日町地区「各組織と未来を語る会」が中心となり、地区の各団体組織と連絡・連携を取りながら、地区公民館に集いボランティア活動や世代間交流などが集う場を創出。また、一人暮らし高齢者世帯を対象に、手作り弁当の配付等による安否確認を行なうなど、共同事業の実施による互いに支えあう関係づくりに取り組んでいる。

・ 開催状況

開催回数 12回
延べ参加者数 233人 (ボランティア含む)

(「地域除排雪ボランティア」活動支援)

(⇒地区助成)

地域実情にあった除排雪ボランティアの仕組みを検討し、要支援世帯等への支援を実施することにより、ささえあい活動の定着を図る。(住民主体活動の継続的発展の支援)

(参考) : これまでに実施した地区 安沢地区

- ・活動実践地区 当年度実績なし
- ・活動地域 (同上)
- ・活動の担い手 (同上)
- ・活動状況 (同上)

※ 活動上の留意事項

(降雪期以前の情報の整理、計画性。地域実情にあったルールづくり。)

(「除排雪ボランティア活動推進(除雪機貸出)事業」)

除排雪に課題のある高齢者等要援護者に対する支援活動の取組を推進することにより、
害に負けない安全・安心な地域づくりに向けた環境の整備を図ることを目的とし、ボランティア
による除排雪活動への貸出用除雪機を設置。

・活用状況 令和 4年 2月10日

(七日町地区、高齢者世帯の除雪作業／ボランティア活動時に活用)

(在宅福祉援助活動等継続支援事業) (⇒「見守り型・配食サービス事業」支援)

ボランティアによる在宅福祉援助活動等の取組が、継続的に発展することを目的とした支
援の取組。

支援対象 : 支え合いボランティア“はちまきくらぶ”による配食サービス

(食料費の一部を支援)

・実施回数

53 回

・利用者数

33 人

(延べ利用者数 : 983 人)

◇ 福祉団体活動の支援

(⇒金山町老人クラブ連合会、金山町遺族会)

福祉団体の育成と活動の充実を目的とし、団体活動費の助成を実施。

金山町老人クラブ連合会

200,000円

前年度⇒ 200,000円

金山町遺族会

75,000円

前年度⇒ 75,000円

◇ 高齢者並びに障がい者の交流

(⇒当事者の組織化、二一又把握、交流の場づくり)

(健康長寿のつどい)

※下記計画を中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

一人暮らし高齢者と民生委員を中心とした福祉関係者との交流の場をもつことにより、対象者の孤立しがちな日常の解消を図り、生活意欲を増進するとともに、当事者がかかえる課題問題の把握につとめ、関係機関の今後必要な活動を具体化することを目的とし計画。

・ 開催計画日 (令和 3 年 11 月)

・ 会場 (町農村環境改善センター)

・ 参加者数 (一 人) (※対象者:184人) 前年度⇒ (一 人)

・ 内容 (意見交換会、アトラクション(当事者参加)、会食、記念写真撮影他)

※ 対象者の生活状況調査については、民生委員の協力を得て実施。

(障がい者サロン:いきいき教室)

当事者のリハビリテーション及び生きがいづくり、相互の交流を目的としたサロン事業。
文化芸術(造作活動等)、軽スポーツ、屋外活動等、当事者組織(身体障害者福祉協会)と連携し、通年定期的に開催。

・ 開催日数 6回(6月～2月) 前年度⇒ 4回

・ 会場 町農村環境改善センター他

・ 参加者数 13人(延べ参加者数 : 55人) 前年度⇒12人(延べ参加者数 : 41人)

・ 内容 お茶のみ交流、軽スポーツ、健康教室、作品づくり他

(金山ミニサロン : 健康、趣味の集い)

高齢者等を対象とし、健康器具による運動や健康体操、参加者の趣味、特技を活かした活動など、生きがいと仲間づくりを進めながら、身体、精神の健康維持に向けた取組を実施。

・ 開催日数 29回

・ 会場 町老人福祉センター他

・ 参加者数 13人 (延べ参加者数 : 252人)

(「出前版」ミニサロン)

「金山ミニサロン」の出前版として実施。

・開催回数 14回

・会場 地区公民館他(12地区)

・参加者数 147人(延べ参加者数:198人)

③-3 福寿会開催事業(令和3年度金山町福寿会賀詞等贈呈式)

対象者の長寿と健康を祝う「福寿会」開催事業。

多年にわたって、本町の発展につくされた高齢者の方々のご労苦に感謝を申し上げるとともに、これからも健康長寿であることを願い、賀詞等の贈呈及び交流の場を設定。

・開催日及び会場

令和3年9月19日(日) 10時開会
金山町農村環境改善センター 多目的ホール

・事業対象者:住民基本台帳(令和3年9月1日現在)による

米寿47名(昭和9年1月1日～12月31日生まれの方)
喜寿52名(昭和20年1月1日～12月31日生まれの方)

※上記の対象者中24名出席(米寿13名、喜寿11名)

・事業対象者への祝品等

☆賀詞(額縁付)
☆賀詞等贈呈式次第、賀詞等贈呈対象者名簿、マスク(5枚組)
☆赤飯、紅白饅頭、茶 ⇒ (当日出席者のみ)

※当日出席されていない方への祝品等については、対象世帯を訪問のうえ配付

(参考):前年度(令和2年度)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対象者への賀詞祝品、記念品等の配付業務のみを実施。

④ 共同募金配分金事業

④-1 一般募金配分金事業

共同募金配分金(前年共同募金による共同募金会からの配分金)をうけて行う地域福祉活動事業の実施。

《配分実績》

・老人福祉在宅福祉援助活動費配分(食事サービス)

「見守り型・配食サービス事業」経費

247,735円
213,398円
前年度⇒

・障がい者福祉団体援助活動費配分(組織の育成)

金山町身体障害者福祉協会援助活動費

150,000円
150,000円
前年度⇒

④-2 歳末たすけあい配分金事業

共同募金配分金(歳末たすけあい募金による共同募金会からの配分金)をうけて行う歳末たすけあい募金配分事業の実施(12月下旬)。

・募金配分対象となる世帯(生活保護世帯を除く在宅の生活困窮世帯)を調査し、配分委員会が審議決定した世帯に対し、募金の配分と激励を実施。

(配分基準を、世帯割 8,000円、人員割 5,000円として計画実施)

・対象世帯の調査並びに配分については民生委員の協力をえて実施。

《配分実績》

歳末たすけあい配分事業費

48件(70人) 734,000円
52件(76人) 796,000円
前年度⇒

(内訳)

低所得世帯

3世帯

前年度⇒

4世帯

一人親世帯

5世帯

前年度⇒

5世帯

高齢者等の世帯

6世帯

前年度⇒

9世帯

一人暮らし高齢者世帯

34世帯

前年度⇒

34世帯

⑤ 指定管理事業

⑤-1 農村環境改善センター指定管理

施設の設置目的の達成及び、利用者の利便性を高めながら安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営にとめた。

・農村環境改善センター利用状況

施設利用件数(延べ利用件数)

163件
307件
前年度⇒

施設利用者数(延べ利用者数)

18,566人
5,728人
前年度⇒

⑤-2 老人福祉センター指定管理

施設の設定目的の達成及び、利用者の利便性を高めながら安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営にととめた。

・老人福祉センター利用状況

施設利用件数(延べ利用件数)	前年度⇒
268件	196件
施設利用者数(延べ利用者数)	前年度⇒
4,412人	2,371人

⑥ その他の事業

◇ 福祉団体等の事務局運営支援

(役員会、総会、会議等については記載省略)

・山形県共同募金会金山町共同募金委員会

共同募金運動(歳末たすけあい募金を含む)、配分関係事務他
⇒戸別、法人、学校、職域、その他

・金山町老人クラブ連合会

県老人福祉大会並びに単位クラブ会長等研修⇒(中止)
最上地区老々連連絡協役員並びにリーダー研修

おしどり金婚顕彰

町老々連会長表彰

生活安全研修(交通安全研修(心の健康づくり研修は中止))

会員交流事業(クラブ・ゴルフ交流事業(公式クラブ交流事業は中止))

女性委員会研修等(町議会傍聴、陶芸教室他交流会)

若手委員会研修等(県防災学習館視察他)

県老々連主催各種研修⇒(概ね中止、縮小)

単位老人クラブ研修等活動支援

・金山町身体障害者福祉協会

県身体障害者福祉大会⇒(中止)

県障がい者レクリエーション大会⇒(中止)

重度身体障害者友愛訪問事業

フロッグ別市町村等身障協会活性化研修会⇒(中止)

県身体障害者福祉協会女性会員研修会⇒(中止)

最上広域身体障がい者スポーツ大会⇒(中止)

最上広域身障協文化芸術祭⇒(中止)

最上広域身障協婦人部研修会⇒(中止)

会員交流研修事業(いきいき教室及び軽スポーツ交流)

町身体障害者福祉協会長表彰

・金山町遺族会

全国戦没者追悼式(町からの参加者なし)
県戦没者墓地千歳山霊苑拜礼式(縮小開催)
県遺族大会並びに県戦没者追悼式(開催地等関係機関のみで開催)
町戦没者慰霊祭
長寿の方(遺族)に対する祝品贈呈等
最上地区遺族会連絡協研修⇒(中止)
機関紙(遺族通信)による情報提供
会員交流事業⇒(軽スポーツ交流及びDVD鑑賞)

